



2019年9月25日

株式会社 リクルート ライフスタイル

スマホでできる精子セルフチェック『Seem』、 松重 豊さん、北川 景子さん出演の映画「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」とコラボ！ 「男性の妊活」をテーマとした特別動画を本日より公開

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が運営する、スマホでできる精子セルフチェック『Seem』（シーム）は、映画「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」の公開を記念し、2019年9月25日（水）より、映画本編とコラボした「男性の妊活」がテーマの特別動画を公開します。

『Seem』：<https://seem.life/>

コラボ企画の背景、特別動画の概要

2019年10月4日（金）より公開される映画「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」は、「男性の妊活」をテーマとした作品です。松重 豊さん演じるヒキタ クニオと北川 景子さん演じるサチの夫婦が、妊活に取り組む中で立ちはだかる困難にも、明るく前向きに立ち向かう姿をユーモアを交えて描き出されています。このたび、スマホでできる精子セルフチェック『Seem』は、「妊活は、パートナーといっしょに取り組むもの」という考えのもと、女性だけでなく男性も主体的に参加する新しい妊活文化醸成を目指し、映画「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」とコラボ企画を実施しました。9月25日（水）より、「男性の妊活」をテーマとして作成した特別動画を公開します。本動画が、パートナーとの妊活に前向きに取り組むきっかけとなることを願っております。



特別動画「不妊の原因篇」

■ 配信期間 2019年9月25日（水）～ 2019年10月31日（木）予定

映画「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」

タイトル：「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」 (<https://hikitasan-gokainin.com/>)

公開日：2019年10月4日（金）より全国にて上映 主演：松重 豊 他 脚本・監督：細川 徹

<あらすじ>

ヒキタ クニオ、49歳。職業は人気作家。サウナとビールが大好きで、ジム通いのおかげで健康体。一回り以上年が離れた妻・サチと仲良く暮らしている。年の差婚のふたりは、子どもは作らず、気ままに楽しい夫婦生活を送るつもりでいたが、ある日の妻の突然の一言ですべてが変わった。

「ヒキタさんの子どもに会いたい」

サチの熱意に引っ張られる形で、妊活へ足を踏み出すことになったヒキタ。だが、彼は知らなかった。まだまだ若くて健康だと自負していたが、相反して、彼の精子が老化現象を起こしていたことを……。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

特別動画について

「男性の妊活」をテーマに、全7種の動画を公開しています。

<精子の状態篇> <https://youtu.be/PgvBdM2DHyY>



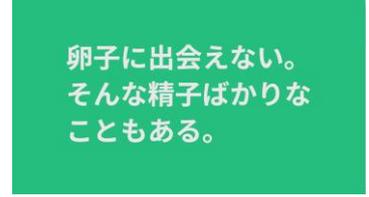
<コンディション篇> <https://youtu.be/NWTdxnszDok>



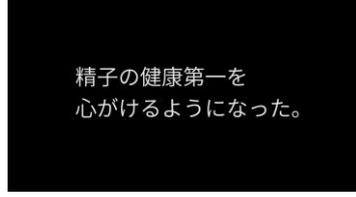
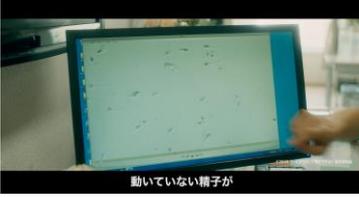
<まわりの目篇> <https://youtu.be/6PzC9PPnv7Q>



<卵子に出会えない篇> https://youtu.be/YVCbh_qwbnM



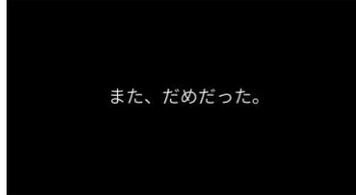
<認識が変われば篇> <https://youtu.be/Q5wk1k4Rse>



<不妊の原因篇> <https://youtu.be/LkAR0TKYWho>



<不妊の悩み篇> <https://youtu.be/sE7havkS9hU>



<『Seem』の特徴>

- アプリが精液を解析し、その場ですぐに精子の濃度や運動率が測定できる
- 「Seemキット」と専用アプリだけで、すぐに利用できる
- 精子の状態は体調や環境などの影響で大きく変化するため、複数回の測定結果における平均値やグラフ表示により、精子の状態の傾向を確認することができる



<「Seemキット」>

内容：スマートフォン顕微鏡レンズ／精液採取用カップ／採取棒／測定チケット

※いずれも測定1回分となります

販売先：『Seem』Webサイトでご確認ください <https://seem.life/>

<『Seem』アプリ>

App Store (iOS版)

<https://itunes.apple.com/jp/app/seem-shimu-jing-ziserufuchekkuapuri/id1087668468?!=en&mt=8>

※『Seem』は精液簡易チェックツールであり、医療機器ではありません。測定結果は医療機関の診断に代わるものではなく、また確定的な診断を行うものでもありません。そのため、必要に応じて医療機関を受診することをおすすめいたします。